

施設配置及び外構の考え方

- 屋外空間での読書などを想定し、敷地A建物の南側（図書館の南側）へ屋外オープンスペースを計画しています。
- 敷地Aのエントランスから車寄せ及び車いす使用者用駐車場へ至る通路へ雨除けとして屋根を設けています。
- 限られた敷地を有効活用するために、駐車場を甲州街道に面した敷地Cへ集約するとともに、甲州街道から敷地Aへの抜けを確保することで、街道側からも施設を認知できるように配慮しています。
- 併せて、敷地Cから敷地Aにかけて遊歩道を設けています。
- 各敷地間の動線へ植栽等を設けることで、3つの敷地での一体感を創出します。
- 駐車台数については、検討委員会でのご意見などを踏まえて、広場等の屋外空間を確保できる程度の台数設定としています。
- 屋外空間をできるだけ多く確保し、子どもたちが遊んだり大人がくつろげる空間を確保するとともに、安全性を確保するために歩車分離へ配慮しています。
- バリアフリーへの配慮やコミュニティバス等の乗り入れに配慮して、敷地Aへ車寄せを設けています。
- 法令に基づく建物の用途制限のため、公民館は敷地Bへ配置します。
- 利用者等との検討結果より、陶芸窯については敷地Aへ別棟として計画する形へ変更しています。
- 日野宿本陣との関係性に配慮し、日野宿交流館は敷地Bの甲州街道側へ配置しています。



平面プランの考え方

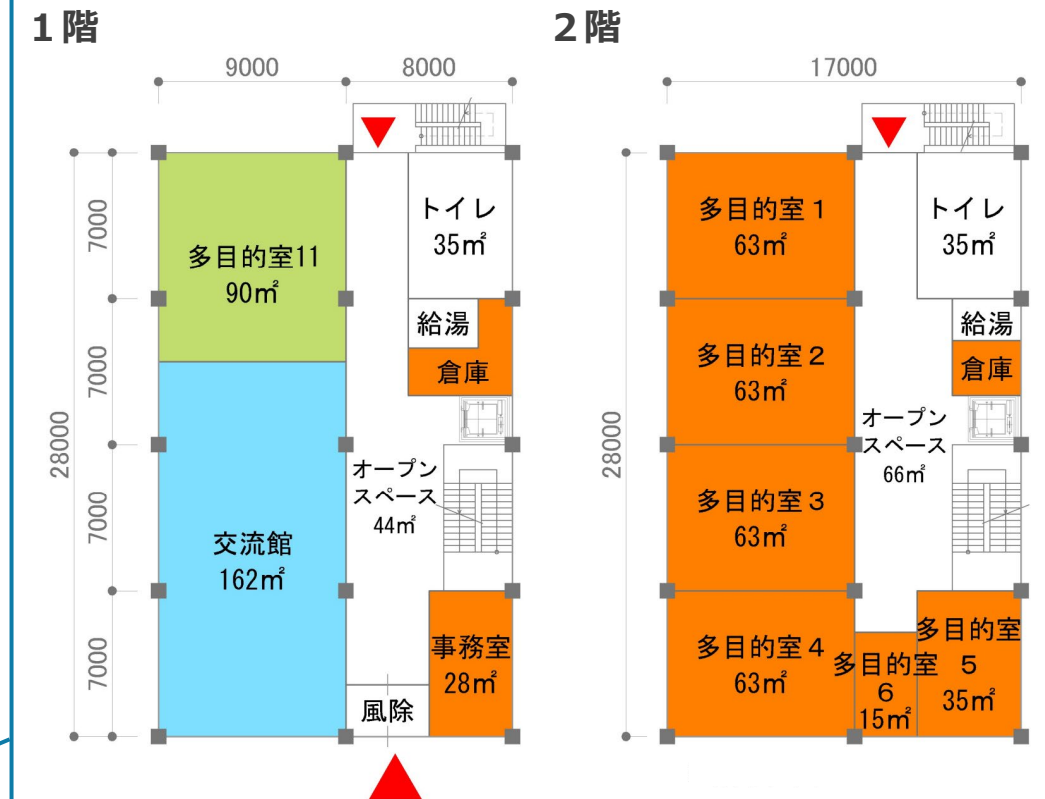
敷地A（複合施設）



- ・ 庁内等での検討結果より、1 階へ図書館、2 階へ児童館を計画しています。
- ・ 建物の 2 階へ直接アクセスする動線として、建物の南側ヘテラス及び屋外階段を計画しています。
- ・ 児童館については、職員が子どもたちを見守れる環境とするため、遊戯室等と事務スペースを隣接させます。
- ・ 多目的室については、稼働間仕切りの活用等によってさまざまな規模の活動で利用できる室とすることで貸室の利便性向上を図ります。
- ・ 屋外広場との一体的な利用を想定し、建物 1 階の南側広場に面した位置へ調理実習室を設けています。
- ・ 建物の 1 階へ子どもの一時預かりサービスを提供する「保育室」を専用室として計画しています。
- ・ 各階にオープンスペースを設け、貸室以外での活動の場を創出するとともに、利用者同士の交流を促します。
- ・ サイレントコントロールへの配慮として、音の出る機能と静粛性の求められる機能を東西に分けて配置しています。



敷地B（複合施設）



- 公民館については、利用者と職員の関係性に配慮し、事務室と貸館機能の両方を敷地Bに設けています。
- 新選組まつりや自治会活動での利用を想定して、共用貸室を1階へ配置しています。
- 多目的室及び会議室については、敷地A建物と同様に稼働間仕切りの活用等によってさまざまな規模の活動で利用できる室とすることで貸室の利便性向上を図ります。
- 敷地A建物と同様にオープンスペースを設け、貸館以外での活動、利用者同士の交流を促します。

敷地C（駐車場・遊歩道）

- 敷地 C から敷地 A にかけて遊歩道を設けることで、甲州街道からの来訪者を呼び寄せるとともに、新選組まつり等のイベント時には敷地 C をイベントのための空間として敷地 A と一体的に活用することも想定します。